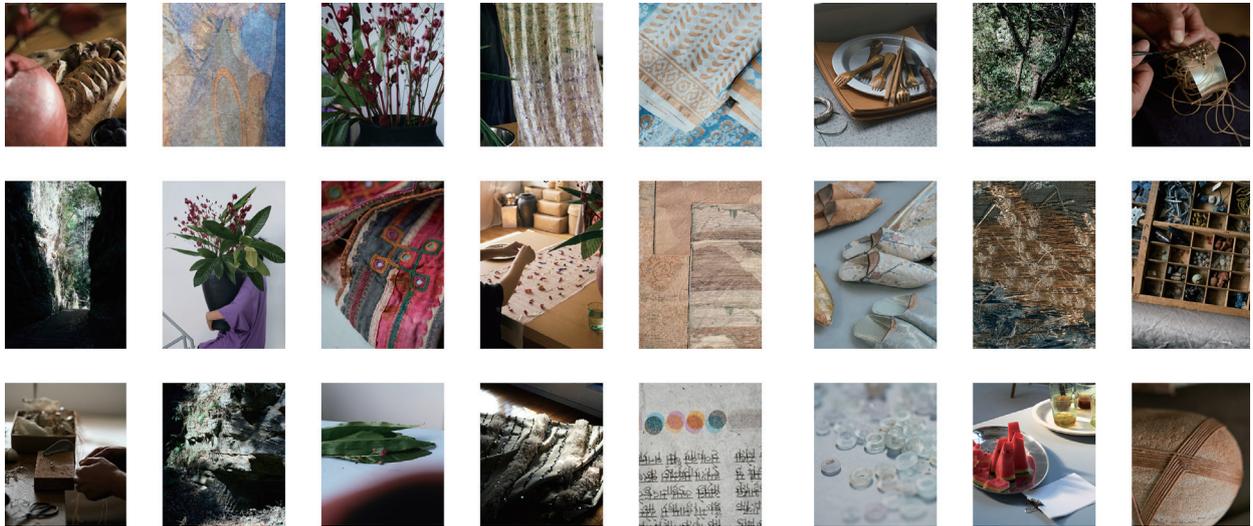
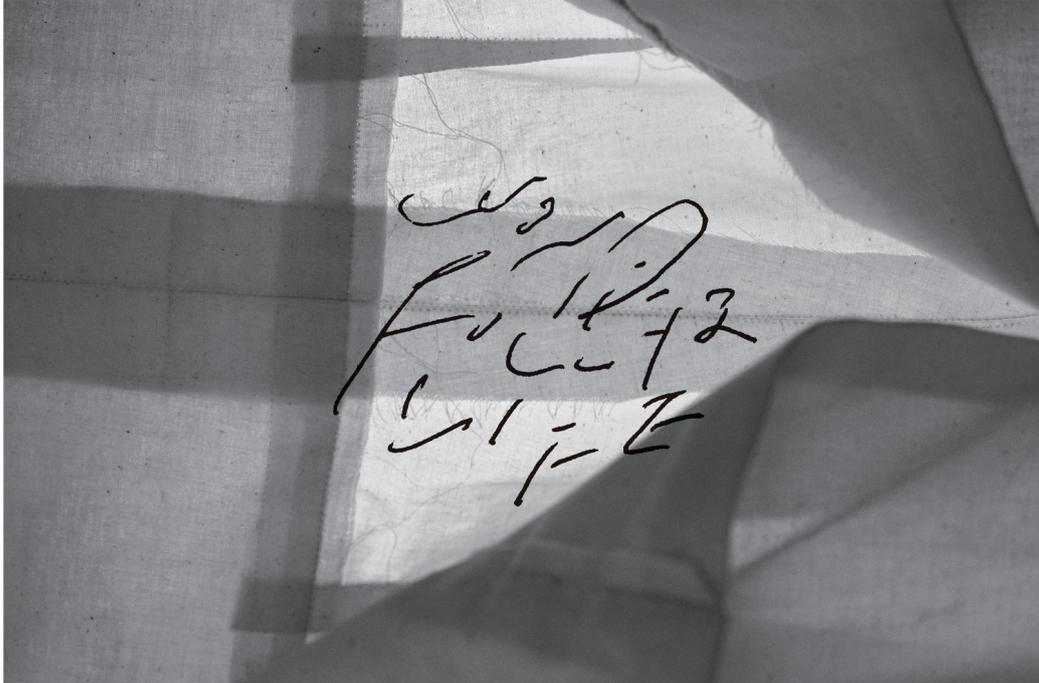


WONDER FULL LIFE EXHIBITION 2024

会期：2024年10月8日（火）～10月13日（日）

会場：TRACING THE ROOTS @ 代官山ヒルサイドフォーラム



WONDER FULL LIFE は、10月8日（火）～13日（日）の期間、代官山ヒルサイドフォーラムにて開催される合同展示会「TRACING THE ROOTS (トレーシング・ザ・ルーツ) - 旅と手しごと -」に出展します。

WONDER FULL LIFE の活動とも並走するかたちで、「TRACING THE ROOTS」のはじまりから、主催者とともに作り上げてきた本展も、今年10年の節目に最終回を迎えます。

この10年の間で出会ってきた各地の作り手や表現者たちとの技術や感覚の交換は、WONDER FULL LIFE の創作活動の大きな幹となりました。これからもこの幹からたくさん芽と花を咲かせていけるように、しっかりと地に根ざし育んでいきたいと思えます。本展では、WONDER FULL LIFE の創作の柱のひとつであるファッションを中心に、主宰の大脇千加子が各地の作り手や表現者たちとの創造の種を、衣服や装身具として形づくり、発表いたします。

WONDER FULL LIFE

わたしたちが生きるこの世界には、人の手を介した
いせつに伝えられてきたものがたくさんあります。

民族の徴として何百年も前に生まれた衣服のかたち。

土地の恵を生かした素材。

そこに暮らす人々の知恵と工夫を織り込んだ技術。

世代を超えた人の思いと、果てない時の流れが複雑に絡み合うことで

いまの時代へと残されたことはまるで奇跡の連続。

しかし、それをただ懐かしみ、傍観しているだけでは

紡がれてきた記憶のかけらも、いつしか消えてなくなってしまうかもしれません。

微かながらも、確かに輝く光を求めて

わたしたち WONDER FULL LIFE は世界を旅し

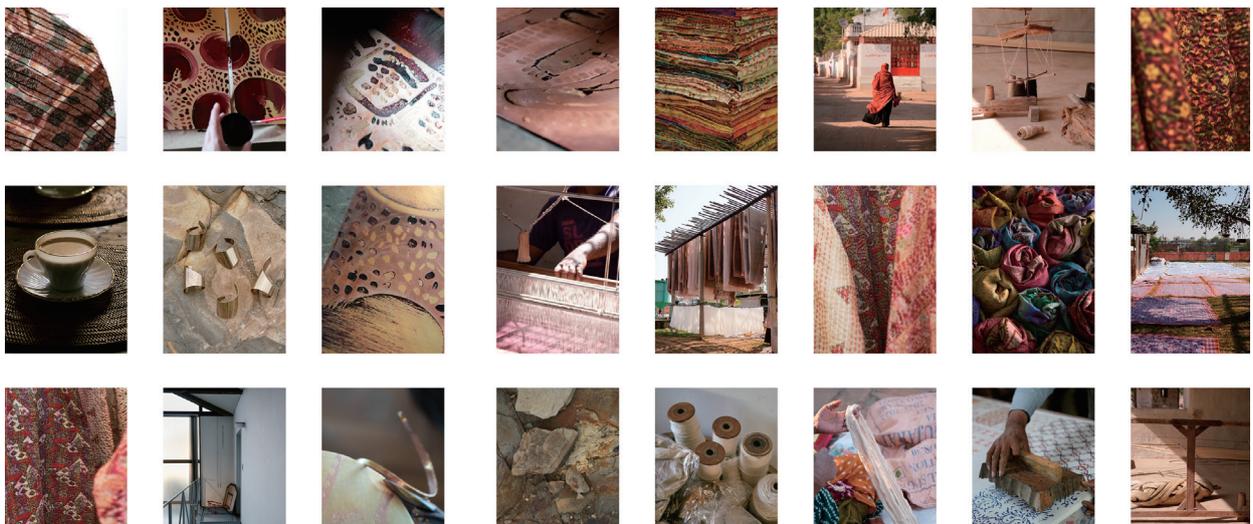
さまざまに交流を重ねてきました。

その経験のなかで出逢った、ものの形、素材のあり方、人のつながりを

既存の枠組みにとらわれない新たなかたちに変えながら、

はかなさの奥に眠る、力強さ、たしかさ、うつくしさを

未来へと綴っていきたいと考えています。



WONDER FULL LIFE 大脇千加子 (オオワキチカコ)

WONDER FULL LIFE 主宰。2005年に立ち上げた自身のファッションブランドを経て、2016年より新たな創作活動として「WONDER FULL LIFE」を始動。FORM・MATERIAL・INTERACTIONを軸に、国やジャンルを超えたさまざまな分野のつくり手や表現者たちと協働し、衣服やアートオブジェに展開。展示会やイベントの開催をはじめ、オリジナルの作品制作、書籍の発表、ライブなど、幅広い活動を行う。 <https://www.wonderfullife.link>

WONDER FULL LIFE EXHIBITION 2024

2024年のテーマは「Layers of view」。

「TRACING THE ROOTS」のはじまりから10年。社会の変容とともに、目まぐるしいスピードで変わりゆくものづくりの現場。私たちの創作の過程でも、世界各地で減少していく手仕事の現状を受け入れざるをえません。その中で、私たちが出逢い、巡り会えた素材や技、それぞれの土地の風土や文化から派生し受け継がれる型など、その価値を彩りをもって残し繋げていけるよう独自の視点で構築し、衣服や装身具といった形に落とし込みました。

「STANDARD」「LIMITED EDITION」「HAND KNIT」「TALISMAN」「CONTERPOINT」の他、国内外のつくり手やブランドとの協働して生まれたラインも充実。古い着物の帯をモロッコでバブーシュに仕立てた「OBI BABOOSH」も新作として発表します。明るく色とりどりのコレクションも今年の特徴です。つくり続けて普遍的な形となった定番から新作、リミテッドピースと多彩なラインナップにぜひご注目ください。



「Layers of view」

— 今を透過して未来を眺める

時の流れと共に移り変わる景色

目の前に或るものを丁寧に掬い取りたい。

私たちが生まれ育った国や

世界各地で継がれていく手仕事に

時と出逢いが重なり

あらたなものづくりのはじまりを加えた

暮らしに寄り添うものが一堂に並びます。

LINE-UP



STANDARD

世界各地の民族衣装を新たな形へアップデートしながら、次の時代に残していきたい定番服。日々繰り返される変化の中で、時代に揺さぶられることなく、穏やかに長く日常に寄り添えるものを。ものづくりを支えてくれている人たちと、小さな循環を繰り返しながら素材から探求しています。

今回は、内なる想いを外側に表現する礼服を発表。古来よりつくり続けられる普遍的な素材を生かした型を次世代へ繋ぐあらたな取り組みがはじまります。



LIMITED EDITION

ヴィンテージファブリックとの出会いからスペシャルなリミテッドエディションを発表。インドの女性が家族の幸福と繁栄を祈って古布に刺し子を施すインドの手仕事の極み「KANTHA（カンタ）」。

ヴィンテージ布を一枚一枚の布と対峙しながら、ヴィンテージカンタの柄や質感を丁寧に繋ぎ合わせてつくった人気のローブやラップスカートに加わえ、バックを多数制作。今季はインドのプシカルで出合った刺繍のリサイクルパッチワークのバックやクッションが並びます。



OBI BABOOSH

日本で古くから継がれてきた職人たちの技が織りなした着物の帯をモロッコに運び、バブーシュに仕立てました。流れるように渡った裏側の糸を一本一本丁寧に切って芯を貼り、手渡される手仕事のバトン。日本の色彩を纏った履物として息を吹き返します。



HAND KNIT

2019年よりはじまったオーダーから1年をかけて届ける HAND KNIT (ハンドニット) ライン。WONDER FULL LIFE が描くかたちを、Takt・近藤里美が編み立てていきます。確かな温度が宿るものづくりを未来へ繋ぎ、あたたかさや優しさを感じられるものに。非効率の中でも創造力を広げ、その技術を継承していくことに挑戦を続けます。今回はアイコン的な存在となったニットマントや、立ち上げから人気のタッセルがアクセントになったプルオーバーに新色が加わります。

TALISMAN

国境や時代を越えて手元に届いた石や銀細工を編み繋いでいくお守り。サハラ砂漠の遊牧民トゥワレグ族のシルバーや、アフリカの古いビーズなど、世界各地から集まったものたちを用いたアクセサリーとしても身につけられるタリスマンを数多く発表します。



WONDER FULL LIFE junto con RAKU

メキシコのチアパスで、伝統的な編み靴ワラーチェを中心に職人たちと協業する「RAKU(ラク)」と WONDER FULL LIFE によるプロジェクト。多様な民族の暮らしの知恵が混ざり合うようなバブーシュをアップデートした木型のフォルムに沿ってワラーチェの技術を用いて、革ひもを編み上げています。新色にメキシコらしいピンクとイエローが加わり、伝統的なマゲイバックに琥珀の原石を入れたお守り袋と共に並びます。

Miki Nagamine (RAKU)

2004年にメキシコ移住以来、靴の製作を生業としながら、現地先住民の民藝文化とのコラボレーションや、技術継承の新しい形を、様々な模索。近年は文化背景の人類学的な洞察も深め、世界のスタンダードではなくメキシコのスタンダードに寄り添った物作りと展示を行っている。Mexico san Cristóbal de las casas 在住。RAKU ZAPATOS 主宰。



accessary mau × WONDER FULL LIFE

国境を越えて失われつつある継承されるべき技術を、未来へと繋ぐ橋渡しのような役割を担うことに軸を置いて活動している小田宏美と始めた新たな取り組み。タイのカレン族の村に足を運び、かたちづくられたオリジナルピースに、小田が長い年月をかけて収集した古いビーズを譲り受け、ハーキマーダイヤモンドなどの天然石とカレンシルバーのビーズなどを編み込んだアートピースが生まれました。

小田宏美 (Hiromi Oda)

18歳の時にカナダに渡航、彫金に出逢う。以降長年に渡り彫金を学び、2005年「accessories mau」と屋号を付け制作を始動。現在、愛知県蒲郡市にあるガレージコーヒーという衣食の集合体の一角「uraya」という場所で制作を重ねている。デザインから制作までを自身で完結させる事で、より良い形で制作出来るように心がけ、2022年にタイのカレン族と共に、オリジナルの形を模索しながらカレンシルバー制作等も始めている。



CHISAKI × WONDER FULL LIFE

日本の帽子づくりの技術と志の高さに共感し、重きをおきながら、国内外のさまざまな素材の可能性に着目。美しい作り手や失い消えていく素材や技術の行く末にも心を割いてもものづくりを進める帽子ブランド「chisaki」。ヴィンテージの帽材を用いた特別なストローハットに WONDER FULL LIFE がメキシコの琥珀ビーズやタイのカレンシルバーをメインにタリスマンを編み繋いだリミテッドエディションを発表します。

chisaki / 菅木 紀子 (Chisaki Noriko)

独学で帽子作りを始め、帽子ブランド「valeur (バルール)」を手掛ける。12年デザイナーとして従事したあと、2015年独立。2016年、株式会社「MAISON ENKU」を設立し、新たなブランド「chisaki」をスタート。国内外での展示会で作品を発表し日本を始め、ヨーロッパやアジア、アメリカでも好評を博す。 <http://www.chisaki.co.jp/>

COUNTERPOINT EXHIBITION 2024

-gahara dheere se -

COUNTERPOINT は、国内外とさまざまな地へ旅をして、共鳴を重ねてきた LIGHT YEARS の細矢直子と WONDER FULL LIFE の大脇千加子が、2019 年よりスタートしたライン。音楽用語で多重奏を意味する「COUNTERPOINT」は、国や人種、様々なものが重なり合い、生まれる瞬間を探して、旅から生まれていくものをテーマに新たな形を探求していきます。



-gahara dheere se -

インドへの旅は続いています。深く歩くことで見えてきた景色。その土地に根をはって伝えられているものづくりとの繋がりは、より密に。歴史ある工房のヴィンテージファブリック、時が刻まれている古い木彫りの木版を使ったブロックプリントや、私たちの定番になりつつあるシルクのシリーズに加えて、旅のかげらから生まれるタリスマンなど。その土地で出会った人や出来事とともに生まれた COUNTERPOINT の旅の軌跡を感じていただけたら幸いです。



COUNTERPOINT

A place we share our re-creation journal

旅をしながら出会った人や出来事、感じたことを構築するプロジェクト。

細矢直子 / LIGHT YEARS 所属 www.light-years.jp

大脇千加子 / WONDER FULL LIFE 主宰 www.wonderfullife.link



WONDER FULL LIFE

COUNTERPOINT CARAVAN 2024



TRACING THE ROOTS - 旅と手しごと -

日時： 2024 年 10 月 8 日 (火) - 13 日 (日)

11:00 - 18:00 [※ 10/13 (金) 13:00-18:00 ※ 10/15 (日) 11:00-17:00]

会場： 代官山ヒルサイドフォーラム 東京都渋谷区猿樂町 18-8 ヒルサイドテラス F 棟

※ 事前登録制 詳細は下記サイトをご覧ください。

<https://motherdictionary.com/roots2024>



CARAVAN 1

日時： 2024 年 10 月 18 日 (金) - 21 日 (月) 11:00 - 18:00

会場： LIGHT YEARS OSAKA 大阪市福島区吉野 4-26-26

CARAVAN 2

日時： 2024 年 10 月 25 日 (金) - 27 日 (月) 11:00 - 18:00

会場： MORE LIGHT 福岡県福岡市中央区清川 3-15-30

□ GENERAL CONTACT :

WONDER FULL LIFE 大脇千加子

090-1709-2020

info@wonderfullife.link

□ PRESS CONTACT :

デイリープレス 川村美帆

tel.03-6416-3201/090-4063-3081

mihokawamura@dailypress.org